

ふだん着の鎌倉

2008.11

「○○の秋」といえば？

鎌倉ではやはり「芸術の秋」です



携帯サイトでもご覧いただけます

<http://itoday.jp/>

▶ PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋…。春や夏や冬はどのようなバラエティに富んだ例えをされることはないのに、なぜか秋は「○○の」と形容されることしばしば。「秋」は、暑くてあまり動きたくない「夏」、寒くて動けない「冬」の間にはさまれた季節。だからその季節にいっぱい動いて何かを成し遂げたい、という人間の本能の表れなのでしょうか？

澄んだ秋空のもとススキが風にゆらめいて始まる十一月の鎌倉は、紅葉に向かってまっしぐら。そんな中、前月から始まった第三回鎌倉芸術祭は最高潮を迎えます。今回は毎週違った味わいのイベントに足を運んでいただけたでしょう、週毎にイベントをご紹介します。

第一週 建長寺・円覚寺風入

一日(土)～三日(月・祝)は北鎌倉の建長寺、円覚寺に足を運びましょう。古くから両寺に伝わって来た国宝や重要文化財を含む仏像、書画などが、虫干しをかねて特別公開されます。円覚寺では国宝の舍利殿(下写真)も拝観できます。紅葉が楽しめるのは下旬からですが、ともかく年に一度の大チャンス。これを見逃すと来年まで見られません。



第二週 建長寺で美しい音楽を

八日(土)は建長寺で幻想的な美しい音色を楽しみましょう。海外での演奏活動は二十九国以上に及ぶという琴奏者・Nobuko。こと馬場信子の演奏会が開催されます。日本人琴演奏家として初めてウイーン楽友協会やリスト音楽院大ホールでオーケストラと共演、世界的に著名な音楽祭にも数多く参加したアーティストです。建長寺の龍王殿に響く琴の音色、楽しみです。



第三週 鎌倉駅周辺で

十五日(土)～十六日(日)の週末は鎌倉駅周辺で行われるイベントへ。博古堂「茶にまつわる鎌倉彫展」や鎌倉彫資料館の「ぐり展」く平成のぐりを見て伝統に触れたあと、小町通りからちよっと入ったところにある鎌倉清方記念美術館を訪れてみましょう。特別展「清方生誕百三十年記念『清方の芝居絵』」が開催されています。明治から昭和にかけて活躍した画家・鎌倉清方が幼いころから親しんできた歌舞伎にまつわる作品を集めた展覧会です。会期中、美術講演会や「毎日先着五十名様に絵葉書プレゼント」が実施されています。



第四週 長谷寺で紅葉と銀の世界を

三年前北鎌倉某所に「鎌倉銀閣」が出現させた現代美術作家・渡辺五大の作品が二十二日、長谷寺に現れます。この時期、長谷寺はちょうど紅葉。境内のライトアップも行われています。紅葉に彩られた境内と渡辺五大の銀の作品、いったいどのような光景が出現するのかわくも楽しみ。期間中の夜間ライトアップは無料開放です。



第五週 情熱のヴァイオリン

最終週の三十日、ヴァイオリンリスト・小澤真智子が生涯学習センターホールでリサイタルを開催します。第二部で登場するアルゼンチンのタンゴピアノリストオクタービオ・ブルネッティはヨーロッパと共演するなど世界的に活躍。ヴァイオリンとピアノによる情熱の響きを感じながら深まりゆく秋のひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。



この他にも様々なイベントが開催されます。詳細は第三回鎌倉芸術祭ホームページ(<http://kamakura-geijutsusai.com/>)をご覧ください。 「秋深み 恋する人の明かしかね 夜を長月と言ふにやあるらん」(拾遺和歌集より) 十一月にはちよっとふさわしくない歌かもしれませんが、ともかくこの秋は芸術に恋しちゃいましょう。